

「AED」小中学校への早急な設置を

公明党津山市議員 岡安 謙典



質問→自動体外式除細動器(AED)の設置状況は。小中学校への早急な設置

が必要である。今後の取り組みは。

答弁→平成十八年度中に市内すべての高校、大学に設置されたことを確認している。また、市役所本庁舎、アルネ津山、津山総合体育館、グラスハウス、津山保健所、県民局、児童相談所等へも設置されている。小中学校への設置については必要と考えている。特に中学校については、部活動など激しい運動を行うため、必要性が高いと判断しており、二十年度設置に向け、関係方面と協議している。小学校についても中学校への設置後、できるだけ早い時期に設置できるよう努力する。

旧社会保険センターの活用と学校の耐震・改修工事

みどりの会 佐々木裕子



質問→旧社会保険センターの活用は。
答弁→一階で乳幼児健診、二階で療育事業を行う。乳幼児から成人までを統括するセンター的に使うことで、子ども

に関わる関係部署が有機的に繋がりが効果上がることを期待している。

質問→子ども施策の一元化について来年の機構改革に向けて市長の考えは。

答弁→従来の縦割りにとられず、時代の課題に柔軟な発想で考えたい。

質問→小学校の耐震・補修工事が行われているが工事の範囲は。耐震診断を早く終わらせる必要があるのでは。

答弁→耐震補強を最優先し、老朽化しているところを安全に、と計画している。改修は建て替えの概ね二分の一の費用と考えており、今後の工事はほとんどこの方法。耐震診断は厳しい財政状況もあり平成二十一年までかかる。

高齢化・少子化に対応した街づくりは

みどりの会 竹内 靖人



質問→高齢化が進んでいる。高齢者対策として、どの様に関わっているのか。

答弁→高齢介護課では、在宅福祉施策や施設福祉施策等により生活管理指導員

の派遣制度や食の自立支援事業、日常生活用具の貸与事業等を行っている。また、「こけなないからだ講座」等で地域ボランティアを中心として高齢者を地域で支える仕組みづくりを進め、支援していきたい。

質問→子育て支援策として、妊婦の無料検診券の枚数を増やせないか。

答弁→必要性は十分認識している。他都市の状況、財政事情を勘案しながら検討をしていきたい。

質問→小児救急の相談窓口、「小児救急医療電話相談」の利用促進・PRは。

答弁→「#8000」番を有効に利用してもらうための啓発方法を検討したい。

危機的財政下、ごみ減量で三十億円の税金節約

日本共産党津山市議員 久永 良一



質問→ごみを三十%減らせば、ごみ処理センターの建設コストを三十億円節約できると同時に、資源創出と地球温暖化防止に貢献。平成二十三年からセン

ターの設計にかかる予定だ。それまでに、ごみを減らすのがチャンスだ。

質問→津山市の焼却場で、焼却しているごみの六十五%は資源として回収可能な紙ごみやごみ処理機器で処理できる生ごみだ。八十%も減量した町の教訓は、分別と生ごみ処理だ。三十%減量は徹底すれば可能だ。

答弁→家庭ごみの三十五%は紙ごみだ。資源となる紙ごみは集団回収、青空リサイクルで回収。事業系ごみの五十%は紙ごみだ。事業所から排出される紙ごみのリサイクルの仕組みを作らなくてはいけない。